

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。今月はご祥当
いよいよ春本番です。暖かくなつてコ
ロナ禍も収束することを祈ります。
昨年からお伝えしている**三河新四国**
八十八ヶ所霊場。今月は三河新四国の
クライマックス、大浜寺町に向かいま
す。

★棚尾の毘沙門天

七十一・七十二番から西に向かうこ
と約八キロメートル。県道四十三号線
を進んで矢作川に架かる棚尾橋を渡る
と碧南市に入ります。毘沙門という地
名の交差点近くにあるのが**七十三番**、
多聞山妙福寺。浄土宗西山深草派のお
寺です。

天台宗の古刹であったようですが、
一五九〇年に**月翁清白上人**によって改
宗。現在に至ります。

本堂西にある**七十四番弘法堂**に祀ら
れる**毘沙門天像**は、八五一年に大和国
から当地に莊園管理者として赴任して
きた**志賀左衛門**の護持仏です。左衛門
に由来して、この辺一帯は志賀屋敷と
呼ばれていましたが、当地の地名は今
でも志賀町です。

毘沙門天像は聖徳太子作と伝わり、
代々の住職も一代一回限りしか開帳で
きない秘仏。棚尾の毘沙門天として親
しまれています。



ご本尊(七十三番) 阿弥陀如来
ご本尊(七十四番)
志貴毘沙門天王 弘法大師
ご詠歌 碧海の緑の海はにこれど
も祖師のひろめしみのりよどま



★大浜寺町

さて、七十三・七十四番から大浜港
に向かって約二キロメートル。だんだ
んと潮の香りが濃くなる中、いよいよ
大浜の中心部に入ります。
七十五番から八十六番霊場が密集す
る中心部は**大浜寺町**と呼ばれています。
札所巡りをする前に大浜の歴史をご紹
介します。
夜ヶ浦と呼ばれた海に突き出す半島

状の地形。南の先端は尖った**権現崎**、
東は入江の**東浦**、西は遠浅の海に大き
な砂浜が広がる**大浜**。古くは南北朝の
頃から三河随一の湊であり、海上交通
の要衝として発展。
一五五九年、**松平元康(徳川家康)**
が大浜郷七ヶ寺に朱印地を与え、一五
七六年には**羽城**を築城しました。その
結果、大浜はさらに発展し、江戸時代
には上方(大坂)への中継地、尾張廻
船の拠点となりました。

江戸時代の大浜は、幕府領、西尾藩
領と変遷した後、一七六八年、田沼意
次の側近、水野忠友が大浜藩を立藩。
しかし、一七七四年に忠友が駿河沼津
藩に所替えとなったのを機に、大浜藩
は廃藩。そのまま沼津藩領となって幕
末に至りました。

★大浜騒動

一八七一年に起きた**大浜騒動**にも触
れておこなうにはなりません。
大浜は重要な海運拠点であったため
に他藩の出張所も置かれ、騒動は上総
国(現在の千葉) **菊間藩**の領地内で起
きました。

菊間藩は明治政府の**廃仏毀釈**の方針
に従い、支配下の寺の合併を進めよう
としました。

この方針に二ヶ寺(西方寺、光輪寺)
が応諾しましたが、こうした動きが広
まることを懸念した他の寺が反発。
「菊間藩がヤソ(当時のキリスト教
の呼び方)を推奨する」とか「神前念
仏が禁止される」との噂が広がり、真
宗大谷派三河護法会を中心に西方寺と
光輪寺を糾弾するに及び、僧、門徒、
農民と菊間藩役人との間で騒動が發生
し、殺害。急報を聞いた菊間藩は藩兵
を派遣。隣接する西尾藩や重原藩も菊
間藩を支援したことで、騒動は収束し
ました。

暴動を煽った僧や役人殺害に関与し
た暴徒数百名が捕らえられ、二人が斬

罪に処され、多数の僧、暴徒が罪人と
なりました。
幕末維新史的一幕として語り継がれ
ています。

★小豆観音

七十三・七十四番から再び県道四十
三号線を西に約一キロメートル進むと
大浜漁港。大浜の中心部です。
港橋を左折して渡ると昔からの集落
の密集地。橋の南東角にある**旧大浜警
察署**の往時を偲ばせるモダンな建物を
横目に南下。集落の中に入っていくこ
と約五百メートル、**七十五番は融通山
観音寺**、**信貴山真言宗**のお寺です。

途中、七十七番・七十八番東照山称
名寺や七十九番・八十番南松山清浄院
の前を通るため、逆打ちした方がよい
というお遍路さんもいますが、とりあ
えず番号通りに南から北上します。
観音寺は一九五五年開山の新しいお
寺です。開山は**大竹清信尼**。
清信尼さんのご主人は日露戦争に出
征。何度も戦死しかけたそうですが、
その都度九死に一生を得て無事帰国。
清信尼さんは、ご主人が護持仏とし
てお守りにしていた大わづか三センチ
メートルの**小豆観音**のおかげと感得。
小豆観音を奉安するために当寺を開山
したそうです。本堂には大約四十七セ
ンチメートルの護持仏と同じ像を彫っ
て祀っています。

★松平八代と東照宮

ご本尊(七十五番) 聖観世音菩薩
ご本尊(七十六番) 如意宝生尊
ご詠歌 大竹の葉末に宿る
月かげはみだの心に白玉と知れ

次の七十七番には**東照宮**があります。
来月は札所巡りの前に、**徳川家康**の祖
先、**松平八代**についてお伝えします。
乞ご期待。

